

提出年月日： 令和元年 8 月 20 日

提案団体名： HEROZ株式会社

○提案内容

(1) 自社の保有するスマートシティの実現に資する技術と実績等
 ※スマートシティの実現に資する技術については、別紙の(1)～(7)の技術分野への対応を記載ください

技術の概要・実績等	技術の分野
<p>①AIを活用したエネルギーマネジメント 建物設備内のセンサーから取得したビッグデータを解析し、条件に応じて最適化を行うAI。 ※参考実績例： 竹中工務店とHEROZ、AIを搭載した空間制御システム『Archiphilia™ Engine』を共同開発「EQ House」にて、学習によって成長する建築を実証 https://heroz.co.jp/release/2019/06/05heroz_takenaka/</p> <p>②AIを活用したインフラモニタリング 構造物や建造物などの状態や各種設備のメーターやスイッチなどを画像解析しデータ化し、インフラ状況の予測・異常検知をするAI。 ※参考実績例： HEROZ Kishin Monitor https://kishin-monitor.heroz.jp/ を活用したモニタリングシステムの提供。</p> <p>③AIを活用した移動の最適化 移動体の移動ルート最適化や移動体・人の配置の最適化を行うAI。 ※各種検証中。</p>	<p>(1)、(2)、(5)、(6)</p>

(2) (1)の技術を用いて解決する都市・地域の課題のイメージ
 ※課題については、別紙の(ア)～(シ)の課題分野への対応を記載ください

解決する課題のイメージ	課題の分類
<p>①AIによって、省エネルギーや省人化を実現。ビル、住宅、店舗他各種建物や乗り物などの様々な空間におけるエネルギー利用の最適化を行うことでエコで暮らしやすいスマートシティを実現していきます。</p> <p>②AIによって、点検業務の効率化・省人化を実現し、より高精度で安定したのインフラ維持管理を行えるようにして国土、暮らしを支えています。</p> <p>③都市の人流データや交通データなどとも合わせてAIでデータ解析・予測することで、遊休資産の有効活用と都市空間の効率的かつ最適な設計を実現していきます。</p>	<p>①:エ ②:イ ③:ア、コ、サ</p>

(3) その他

※(1)(2)について、複数ある場合は項目毎に対応の記載をお願いします。

※既に構想中、実施中のプロジェクトがある場合は、別途そのプロジェクト単独での提案も可能です。

○部局名・担当者・連絡先(電話及びメール)

部局名	担当者	連絡先(電話)	連絡先(メール)
経営企画部	高橋 知裕	03-6435-2435	takahashi@heroz.co.jp